

私たちと現代社会

学習1 私たちが生きる現代社会の特色

□現代の日本では、子どもの数が減少し、高齢者の割合が増えたことにより**少子高齢化**が進み、**少子高齢社会**となっています。高齢化が進んだことで、医療や介護などの制度に使われる費用が増える一方で、働く世代が減り、国や地方公共団体の収入が減少しています。また、**出産**や**育児**では、子どもを安心して生み、育てられる環境づくりが必要となっています。

□パソコン、スマートフォンやインターネットなど**情報通信技術**（ICT）の発達によって、世界中の人々と自由にコミュニケーションをとったり、多様な情報を入手・発信したりすることができるようになっています。このように、現代では社会において情報が果たす役割が大きくなっていく**情報化**が進展しています。

□ビッグデータを処理できる**人工知能**（AI）によって、私たちの生活や仕事に変化が出てくると考えられています。

□ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を利用して多くの人と交流する場面が増えています。情報社会においては、情報を正しく判断して活用する力である**情報リテラシー**や情報を正しく使う態度である**情報モラル**が求められています。

□現代社会では、**グローバル化**が進み、国境をこえて国・企業・人々が直接結び付くようになっています。国や企業の競争が加速すると、各国が競争力のある得意な産業に力を入れ、そうでない産業については輸入にたよるとい**国際的な分業**を行うようになります。

□**感染症**の世界的な流行などの**国際的な問題**については、**国際協力**のもと解決していく必要があります。

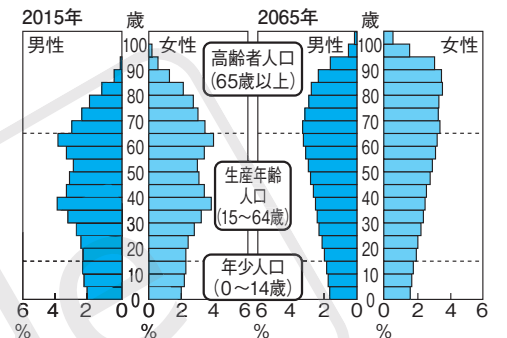
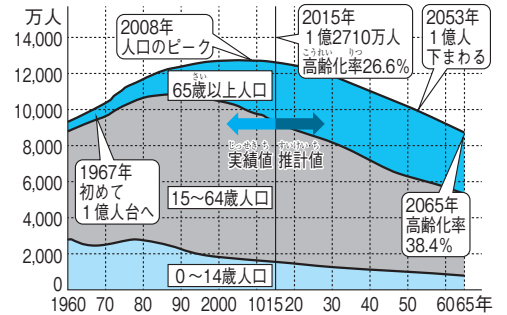
□さまざまな課題を解決していくためには、現在の世代だけでなく、将来の世代の幸福も満たす**持続可能な社会**を目指す必要があります。持続可能な社会をつくるためには、私たち一人一人の**社会参画**が重要となります。

用語 * **グローバル化**…たくさんの人、もの、お金、情報などが国境を越えて行き交うことで、各国がたがいに依存を強め、世界の一体化が進むこと。

学習2 現代社会の文化と私たち

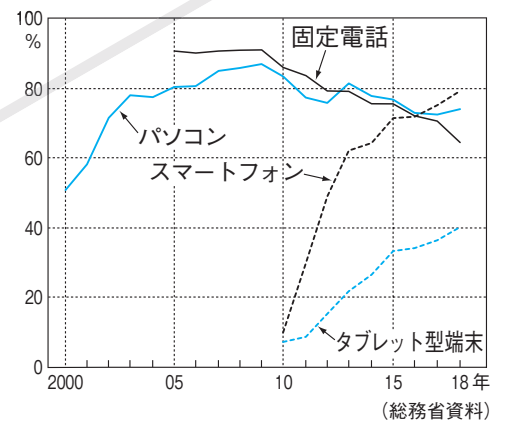
□文化は、人々が衣食住や道徳、スポーツ、他地域との交流などによって育て、伝え合ってきた生活様式や価値観などのことです。

▼日本の年齢別人口の推移



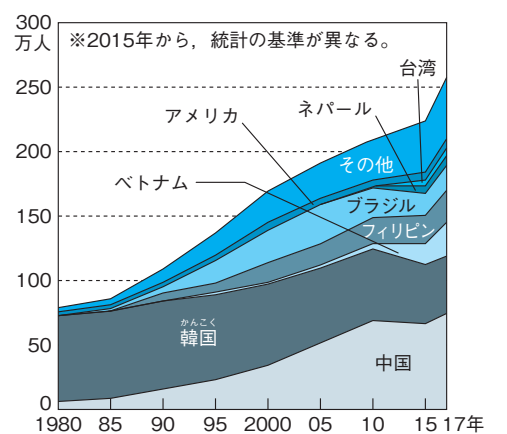
(国立社会保障・人口問題研究所資料ほか)

▼主な情報通信機器の保有状況



(総務省資料)

▼国籍・地域別の在留外国人数の推移



(2018年在留外国人統計ほか)

□文化には科学、芸術、宗教などの領域があります。科学による技術の発展は人々の暮らしを向上させ、芸術は感受性を高めて人生を豊かにし、宗教は困難も少なくない人の世に安心感や精神的な豊かさをあたえてきました。

□年中行事や、能、歌舞伎をはじめとする芸能などは、長い歴史の中で生まれ、伝えられてきた伝統文化です。少子高齢化で存続が危ぶまれるものもあります。

□グローバル化が進む現代では、自分たちの文化と、ほかの国の人々の文化の違いを理解し、相手の文化を尊重することによって、文化の多様性を認め合うことが大切です。

学習3 現代社会の見方・考え方

□私たちは、家族や学校、地域社会、企業、国家といった社会集団の中で生活しています。社会集団の一員として助け合い、尊重し合いながら生活を豊かにしていることから、人は社会的存在であるといわれます。

□家族は、最も基礎的な社会集団です。家族の形は多様化しており、現在では、親と子ども、あるいは夫婦のみの核家族が増えています。また、日本国憲法は家族に関する基本的な原則として「個人の尊厳と両性の本質的平等」を定めています。

□社会生活を営むうえで、きまり（ルール）を作り、意見や利害の対立を調整する必要があります。

□日本国憲法では、一人一人がかけがえのない存在であるという個人の尊重を強く唱えています。

□社会に暮らす人々の間では、考え方や意見の違いから「対立」が起こることがあります。このような場合、私たちは話し合いなどを通して合意を目指します。話し合いでは、全員一致よりも、より多くの人賛成することを目指す多数決がよく使われます。

□「合意」を形成するためには、「効率」と「公正」という2つの考え方に配慮することが大切です。

□みんなで決めたきまり（ルール）には、それを守る責任があります。人々が合意してきまりをつくることを「契約」といいます。

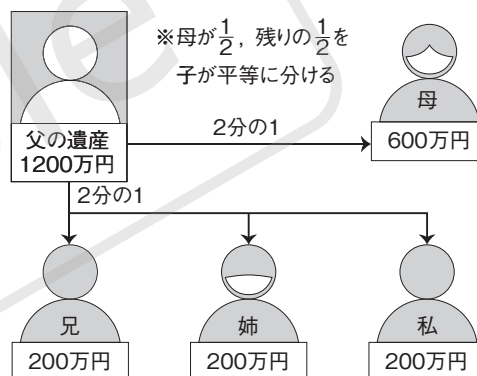
用語 * 効率…合意をつくる時、資源などをむだなく使うことで、全体として最大の利益を得られるような結果になっているかどうかを大切に考える。

* 公正…合意をつくる時、みんなが話し合いに参加しているか、一人一人に最大限配慮したものになっているかを問う考え方。

▼日本の主な年中行事

月	年中行事	二十四節気
1	初詣 七草	大寒
2	節分	立春
3	ひな祭り 春の彼岸	春分
4	花祭り（灌仏会）	
5	端午の節句	立夏
6	更衣	夏至
7	七夕	大暑
8	お盆	立秋
9	お月見 秋の彼岸	秋分
10	秋祭り 更衣	
11	七五三	立冬
12	大みそか	冬至

▼遺産の相続

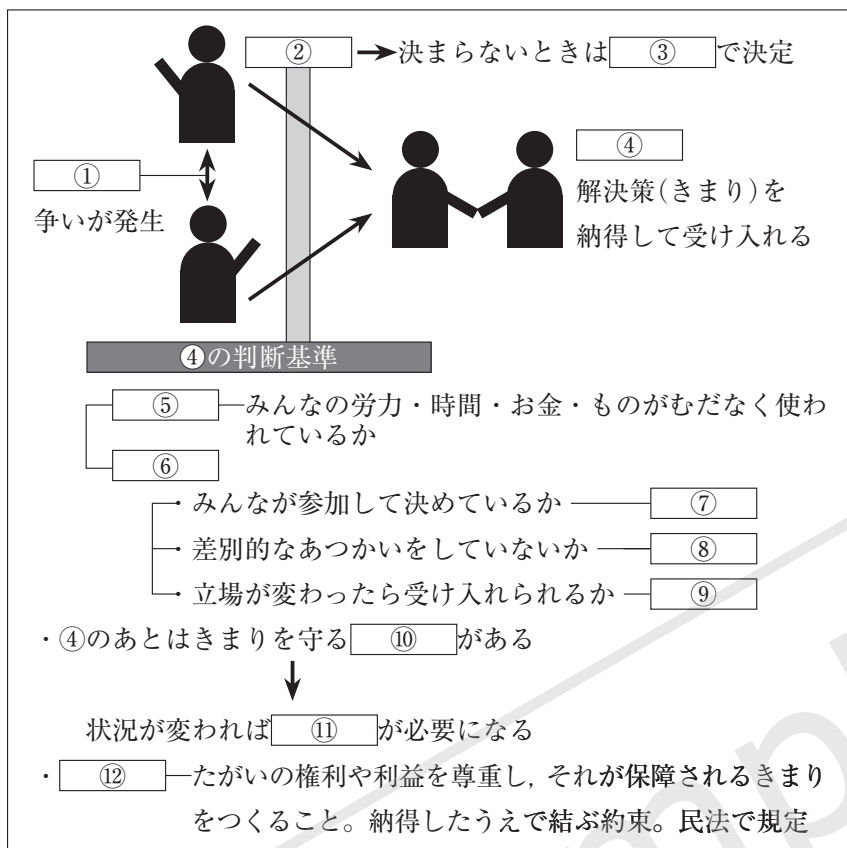


▼決定を行う方法の例

	長所	短所
全員一致	全員が納得して決められる	決めるのに時間がかかることもある
多数決	意見を反映される人の数の方が多い	少数意見が反映されにくい
代表者が決める	全員で決めるより時間がかからない	全員の意見がうまく反映されないこともある
第三者が決める	決めるのに時間がかからない	当事者が納得しないこともある

確認問題

1 ●図で確かめよう● 次の①～⑫にあてはまる語句を、下から選びなさい。



① []

② []

③ []

④ []

⑤ []

⑥ []

⑦ []

⑧ []

⑨ []

⑩ []

⑪ []

⑫ []

- 公正 責任 多数決 対立 効率 話し合い 契約 機会の公正
 きまりの変更 結果の公正 合意 手続きの公正

2 ●一問一答● 次の問いに答えなさい。

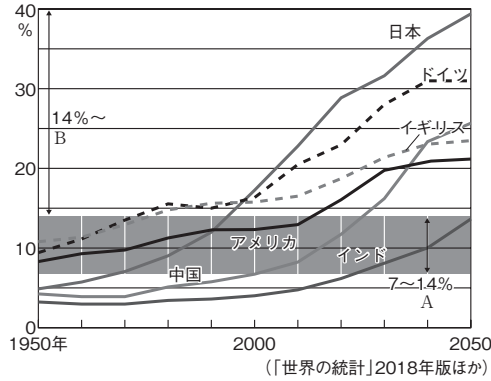
- (1) 子どもの数が減り、人口に占める高齢者の割合が高くなっていくことを何というか。
- (2) 社会のなかで、情報の果たす役割が大きくなっていくことを何というか。
- (3) 多くの情報を利用できるようになったのは、スマートフォンなどの情報端末やインターネットなどの通信技術が発展してきたからである。この技術を何というか。
- (4) 世界の国々のあいだで、人、もの、お金、情報などが自由にゆきかい、世界が一体化する傾向を何というか。
- (5) 衣食住をはじめ、科学・技術・芸術・宗教・政治など、人間がつくり出した社会のしくみや感じ方のすべてを何というか。
- (6) 人間は一人で生きていくことはできず、さまざまな社会集団と関係をもって生きている。このことから人間は何といわれているか。
- (7) 人が最初に所属する、休息ややすらぎの場である最小の社会集団を何というか。
- (8) 人が社会生活を送っていくためには、個人の意見や利害を調整するものが必要となる。これを何というか。

基本問題

1 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 図1中の国のうち、2050年の時点で、最も高齢化率が高くなると予測されている国はどこか。
- (2) 図1中のA, Bは「高齢化社会」または「高齢社会」のいずれかを示している。「高齢社会」を示しているのはどちらか。
- (3) 日本が図1のような傾向にある理由を、次のア～ウから選びなさい。

図1 各国の高齢化率の推移と将来推計

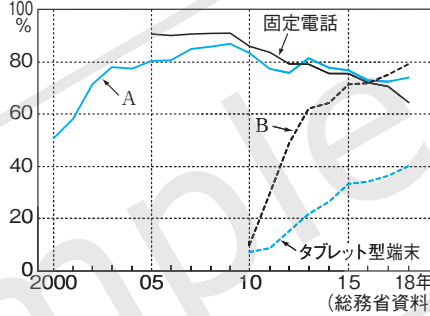


- ア 生まれる子どもの数に変化がない。
- イ 生まれてくる子どもの数が少なくなったので、高齢化率の伸びが大きい。
- ウ 生まれてくる子どもの数が多くなったので、高齢化率の伸びが小さい。

□(4) 図2のA・Bにあてはまるものを、次のア～ウから選びなさい。

- ア パソコン
- イ FAX
- ウ スマートフォン

図2 主な情報通信機器の保有状況



- (5) 図2を見て、2018年のタブレット型端末の保有率は約何%か。
- (6) インターネットの普及により、人々の暮らしはどのように変わったか。あてはまるものを、次のア～エから選びなさい。

- ア 年少人口の割合が低く老年人口の割合が高い、少子高齢社会になった。
- イ 高度経済成長とよばれるいちじるしい発展をとげるようになった。
- ウ 世界のさまざまなところで自然災害や戦争が起こるようになった。
- エ 商品やチケットの購入が簡単に行われるようになった。

(7) 次の①～③にあてはまる語句を、下のア～ウから選びなさい。

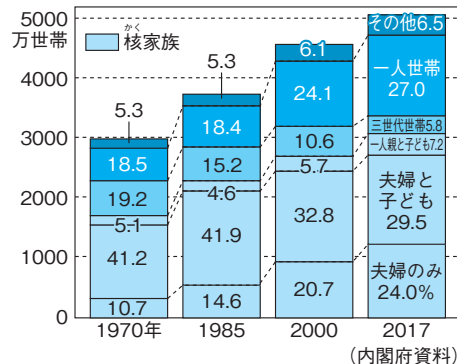
- ① 情報を使う考え方や態度のこと。
 - ② 情報を正しく判断して活用する能力のこと。
 - ③ コンピューターを使う能力の差によって、必要な情報を得られる人と得られない人に分かれる問題。
- ア 情報リテラシー イ デジタル・ディバイド ウ 情報モラル

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	A
	B
(5)	約 %
(6)	
(7)	①
	②
	③

2 右の図を見て、あとの問いに答えなさい。

- (1) 家族のように、さまざまな人が属する集まりのことを何というか。
- (2) 2017年の核家族の世帯は、全体の何%を占めているか。
- (3) 核家族の世帯のなかで、1970年から2017年にかけて、どの世帯が最も増えているか。
- (4) 全世帯のなかで、1970年から2017年にかけて、どの世帯が最も減っているか。

家族構成の変化



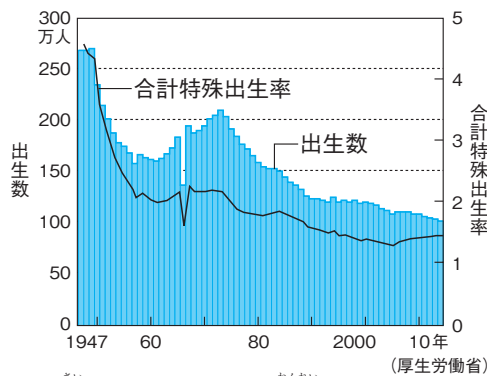
(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

練習問題

1 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 図1のように、生まれる子どもの数が減り、平均寿命がのびて人口に占める高齢者の割合が高くなる社会を何というか。
- (2) 合計特殊出生率が減っている原因として考えられることを、次のア～エから2つ選びなさい。
- ア 結婚しない人が増えたこと。
- イ 平均寿命がのびたこと。
- ウ 祖父母と同居する家族が増えたこと。
- エ 仕事と子育てを両立する環境が整っていないこと。

図1 子どもの出生数と合計特殊出生率の推移



(厚生労働省)
15歳から49歳の女性の、年齢別の出生率を合計した指標を、合計特殊出生率という。

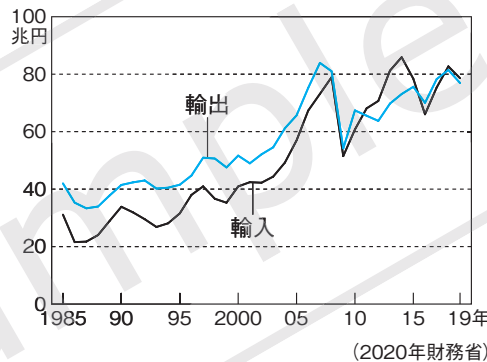
1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

- (3) **表現力** 図1から考えて、今後日本の総人口はどうなっていくと考えられるか。
- (4) 図2を見て述べた文として誤っているものを、次のア～エから選びなさい。

- ア 1985年から2005年の間は、輸出超過だった。
- イ 2005年から2010年の間に、輸出額も輸入額も大きくおちこんだ年がある。
- ウ 2010年から2015年の間は、輸入超過の年が多かった。
- エ 2015年は、輸出額も輸入額も、1985年の2倍以上になった。

図2 日本の輸出額と輸入額の推移



(2020年財務省)

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

近年、情報通信技術 (①) が進歩したことにより、情報のはたらきが大きな意味をもつようになる。①情報化が進み、②たぐさんの人、もの、お金、情報などが自由に行き交い、世界の一体化の傾向が強くなった。

世界規模のさまざまな課題を解決していくため、現在の世代の幸福だけでなく、将来の世代の幸福もみたく (②) な社会をめざす必要がある。また、このような社会を実現するためには、私たち一人一人が社会 (③) をしていくことが重要である。

- (1) 文中の①にあてはまる、「情報通信技術」の略称をアルファベットで書きなさい。
- (2) 下線部①が進んだことにより、人間に代わって がビッグデータを処理し、さまざまな判断を行えるようになっていく。 にあてはまる語句を書きなさい。
- (3) 下線部②について、次の文中のA～Cにあてはまる語句を書きなさい。

たぐさんの人、もの、お金、情報などが国境を越えて自由に行き交うことで、(A) 化が進み、国や企業間の競争がはげしくなっている。また、各国の間では、得意な産業の製品を輸出し、不得意な産業については輸入にたよる国際的な (B) の動きが加速している。一方で、地球温暖化などの国際的な課題については、各国が力を合わせて解決するため、国際 (C) の必要性が増してきている。

- (4) (②) にあてはまる語句を漢字4字、(③) にあてはまる語句を漢字2字で書きなさい。

2

(1)	
(2)	
(3)	A
	B
	C
(4)	②
	③

③ 次の表を見て、あとの問いに答えなさい。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
初詣	A	ひな祭り	花祭り	B	更衣	C	お盆	お月見	更衣	D	大みそか

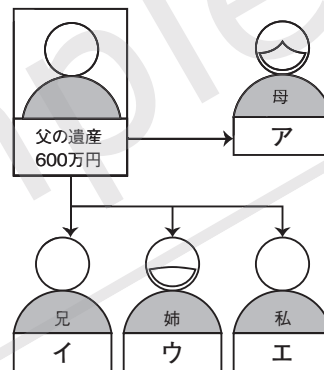
- (1) 表のように、毎年同じ時期に行われる行事を何というか。
- (2) 表中のA～Dにあてはまる行事を、次のア～エから選びなさい。
ア 七夕 イ 端午の節句 ウ 七五三 エ 節分
- (3) 能や歌舞伎のように、古くから受けつがれてきた文化を何というか。
- (4) 次の文化の領域を何というか。
- ① 医療や金属の加工などの技術を支える理論。
- ② 人の心の支えとなる、神についての教え。
- ③ 人の生活を豊かにする、絵画や音楽、演劇など。
- (5) 次の文中の()にあてはまる語句を漢字3字で書きなさい。
私たちは、自分たちの文化だけでなく、異なる文化も大切にし、文化の()を尊重していかなければならない。

③

(1)	
(2)	A
	B
	C
	D
(3)	
(4)	①
	②
	③
(5)	

④ 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 図中のア～エのうち、相続額が最も大きいものを1つ選びなさい。なお、遺言などの特別な条件はないものとする。
- (2) 家族や個人について、次の文中の①、②にあてはまる語句を書きなさい。
日本国憲法では、家族に関することは、「個人の尊厳と両性の本質的(①)」の考えに基づくことと定めている。また、日本国憲法では、一人一人がかけがえのない存在という「個人の(②)」を強調している。



④

(1)	
(2)	①
	②

⑤ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

人は多様な考え方や利害をもちながら生きているため、意見の違いから対立が起きることがある。そのままでは社会はうまくいかないため、^①話し合いや交渉を通じて、^②合意をつくり出すことが必要となる。

対立と合意をくり返し、同じようなやり方や基準での解決が合意されると、それが(①)となる。①をつくるときには、たがいの(②)を尊重し合うことが大切であり、みんなで合意して決めたものであれば、守るという(③)が生じてくる。

- (1) 文中の①～③にあてはまる語句を、次のア～ウから選びなさい。
ア 権利 イ 責任 ウ きまり(ルール)
- (2) **表現力** 下線部^①で行われる決め方について、次の文中の()にあてはまる内容を書きなさい。
全員一致は、()ため、合意するまでに時間がかかる。
- (3) 下線部^②について、より良い合意をつくるために必要な、次の①・②の考え方をそれぞれ何というか。
- ① むだが多く、最大の利益を得られるような結果になっているかを大切にする。
- ② 個人の意見を尊重し、一人一人に最大限配慮したものになっているかを問う。

⑤

(1)	①
	②
	③
(2)	
(3)	①
	②